

SGEC 分別・表示事業体審査報告書

南九州木材市場株式会社

平成 2 2 年 3 月

(社)全国林業改良普及協会

目 次

I . 南九州木材市場株式会社の概要

II . 審査経過・写真

III . 審査における判定事由書

IV . 添付資料（主な確認資料）

V . 審査判定表

I. 南九州木材市場株式会社の概要

1. 申請者名称 南九州木材市場株式会社 代表取締役 久保 泰人
(所在地) 宮崎県宮崎市高岡町2518番地
2. 認定事業体 南九州木材市場株式会社
3. 認定対象業種 木材製品卸売業（製品市場）

4. 沿革・概要

昭和55年1月に製材工場であった宮崎久保産業（宮崎市小松）を九州では数少ない卸売りの複式木材製品市場として開業する。製品の一般材は都城をはじめ、県内の多くの製材工場から出荷支援を受け、また化粧材は、宮崎県内をはじめ四国・近畿・北陸など、遠くは秋田からの製品出荷もあった。ピーク時は買方も九州一円からの来場を受け賑わった。

取扱い数量も増加し、同敷地では、手狭になり近隣の高岡町(現・宮崎市)に移転した。移転と同時に、木材製品の販売拡大を視野に入れプレカット工場(ランバー宮崎協同組合/NFEA-W013)を隣接地に稼働させている。

南九州木材市場株式会社の主な事業は、住宅用木材資材の卸売りで月3回の市を開催し県内はもとより、九州・本州にまで販売を実施している。

また木材は、銘木から一般材まで幅広く取り扱い、一般材は特に最近乾燥品の需要が高まり構造材・羽柄材共に乾燥材を提供できるよう万全な品揃えを行っている。顧客の要望により、プレカット工場(ランバー宮崎協同組合)より、木材製品の手配・搬入を実施している。

昭和55年10月	宮崎久保産業(株)を南九州木材市場(株)に商号変更
昭和55年1月	南九州木材市場(株)としてオープン
平成5年12月	代表取締役に久保泰人が就任
平成8年5月	宮崎市小松2705から東諸県郡高岡町上倉永2518に移転 隣接敷地にランバー宮崎(協)を設立し、プレカット事業開始
平成18年1月	宮崎市に編入合併し宮崎市高岡町となる。
平成22年11月	優良申告法人として税務署より表彰

【概要】

- 設立 : 昭和 55 年 1 月
- 資本金 : 30,000 千円
- 年間売上高 : 18 億円 (平成 22 年 12 月期)
- 従業員数 : 16 名
 - 市場整理 10 名 (男子 10 名、女子 0 名)
 - 事務所 6 名 (男子 4 名、女子 2 名)

- 事業内容 : 木材製品卸売業 (製品市場)

○製品仕入先

西元産業株式会社 (鹿児島県東串良町)
三谷商店 (宮崎県西都市)
株式会社 北條 (宮崎県都城市)
立石林業株式会社 (宮崎県えびの市)
株式会社 竹ノ内製材所 (宮崎県高原町)
木脇産業株式会社 (宮崎県都城市)
持永木材株式会社 (宮崎県都城市)
有限会社岸本木材店 (宮崎県日向市)
川口木材株式会社 (宮崎県都城市)
久保産業株式会社 (宮崎県都城市)

○製品出荷先

株式会社 川上木材 (宮崎県宮崎市)
株式会社 トーア (宮崎県都城市)
株式会社 大忠 (宮崎県日向市)
久保産業株式会社 (宮崎県都城市)
株式会社 小野木材 (宮崎県綾町)
木脇産業株式会社 (宮崎県都城市)
持永木材株式会社 (宮崎県都城市)
株式会社 高嶺木材 (宮崎県日南市)
森重木材株式会社 (宮崎県都城市)

【木材・木製品の年間取扱実績】

○木材・木製品の取扱量（平成22年1月1日～平成22年12月31日）

【製品入荷量	45,000 m³】
国産無垢材	42,000 m ³
（スギ材	41,000 m ³ ）
（ヒノキ材	1,000 m ³ ）
集成材	3,000 m ³
（スギ集成材	100 m ³ ）
（R.W集成材	2,900 m ³ ）

【製品出荷量	43,000 m³】
国産無垢材	40,500 m ³
（スギ材	39,500 m ³ ）
（ヒノキ材	1,000 m ³ ）
集成材	2,500 m ³
（スギ集成材	100 m ³ ）
（R.W集成材	2,400 m ³ ）

※R.W／欧州アカマツ

【主要設備】

事務所1棟・製品倉庫1棟・社員寮1棟・フォークリフト7台・社用車3台

5. 分別・表示管理体制

加工工程がないため、分別・表示は容易だが、木材製品流通業として、一般製材から、合法木材認証材等様々な林産物の販売を行っている南九州木材市場株式会社(以下：同社)では、適切な入・出荷、在庫管理が求められる。

同社では、「認証林産物の分別・表示管理方針書」及び「SGEC 認証林産物の入荷・出荷管理計画」を定め、「SGEC 認証森林から産出された林産物と、それ以外の林産物が入荷及び出荷の課程で混在しないように、分別・表示管理を統括する認証林産物管理責任者及び各担当者を配置し、適正な管理体制を確立する」とともに、倉庫及び製材現場に、専用の保管スペースを定めて明示し、仕入時の保管間違いや出荷時の誤積載を防ぐことを徹底する計画である。

また、「SGEC 認証林産物の表示・管理体制」の下で、定期的な棚卸し・内部監査を行うと共に、「SGEC 認証材入庫・出庫分別マニュアル」を作成し、従業員等への前記方針等の徹底を図ることとしている。

なお、認証林産物の取扱記録については、専用の「SGEC 認証材入荷管理表(書式)」を作成して、在庫管理と履歴証明に努めている。

【主な確認資料】

- ・南九州木材市場株式会社の会社概要
- ・認証林産物の分別・表示管理方針書
- ・SGEC 認証林産物の表示・管理体制図
- ・SGEC 認証林産物の入荷・出荷管理計画図
- ・SGEC 認証材入荷管理表(書式)
- ・南九州木材市場株式会社配置図

Ⅱ. 審査経過・写真

1. 南九州木材市場株式会社の審査経過

認定審査は、(社)全国林業改良普及協会認証審査センターの児島裕、宇佐美均、鳥越貞雄の3名が下記のとおり行った。

【審査申込】

平成22年12月17日／審査申込

(内 容)

1. 全林協の審査手順についての説明
2. 審査申込書の受付
3. 確認資料の説明

【認定審査】

2月15日／書類確認及び現地確認

(場 所)

南九州木材市場株式会社（宮崎県宮崎市高岡町2518番地）

(審査員)

(社)全国林業改良普及協会審査員	児島 裕
同	宇佐美均
同	専門審査員 鳥越貞雄

(出席者)

南九州木材市場株式会社	代表取締役	久保泰人
同	部長	竹野研二

(内 容)

1. SGEC 分別・表示の考え方等の説明を行った後、南九州木材市場株式会社の事業概要及び、仕入れ・保管・販売における木材の流れ・管理の仕組み等について説明を受け、併せて関連資料の審査を行った。
2. 南九州木材市場株式会社の製品等保管庫、認証材置き場、製品の分別状況等を確認した。
3. 南九州木材市場株式会社の管理方針、認証林産物の生産・出荷管理計画、分別・表示管理体制等について、追加指摘事項の説明を行うとともに遵守意志を確認した。

【審査判定】

3月11日／審査委員会（書類審査）

（委員名）

元東京大学教授・農学博士	山根 明臣
元東京農業大学教授・農学博士	河原 輝彦
木構造振興株式会社代表取締役・農学博士	西村 勝美
（社）日本育種協会理事	真柴 孝司

（事務局）

（社）全国林業改良普及協会 専務理事	渡辺 政一
同 認証審査センター	児島 裕
同 認証審査センター	野田 昭一
同 認証審査センター	宇佐美 均

（内 容）

1. 現地確認の結果及びSGECの定める「認定審査」基準事項に基づき設定した「審査要件」に基づいた審査内容を各委員に説明した。
2. 提出資料、実行体制及び入荷・出荷管理の仕組み等から、申請者は認定に値する事業体であるものと認められた。

Ⅲ. 南九州木材市場株式会社の審査における判定事由書

SGEC の定める「認定審査」基準事項に基づき、全林協「SGEC 事業体認定基準・指標」の 15 項目を審査要件とした。

これら「審査要件」に基づいて「認定審査」を行い、審査委員会に諮ったところ、南九州市場木材株式会社は、認定に値する事業体であるとして判定された。

なお、審査委員会により、認定取得後の「向上目標」として下記が付記された。

【向上目標】

1. 認定取得後、自社内部監査を徹底し、認証林産物の適正なトレサビリティを確立すること。 (基準 2-3)
2. 認証林産物の取扱はこれからであることから、関係職員に対し、十分な教育・研修を図り、分別・表示管理方針書の趣旨を徹底すること。 (基準 2-4)
3. 詳細な産地情報を求める消費者の要望が、高まってきていることから、川上事業体と連携して、「認証材産地出荷証明書」の作成に必要な、より詳細な情報の記録・保存に努めること。
(基準 4-3)